

独立行政法人製品評価技術基盤機構  
第2回契約監視委員会 議事概要

1. 日時：平成22年2月3日（水） 13：15～16：00

2. 場所：製品評価技術基盤機構 本館2階第1会議室

3. 出席者：

委員長 藤本 瞭一（早稲田大学理工学術院総合研究所研究戦略室 教授）  
委員 大谷 惣一（シュエット法律事務所 弁護士）  
委員 西村 勝秀（西村勝秀公認会計士事務所 公認会計士）  
委員 地崎 修（独立行政法人製品評価技術基盤機構 監事）  
委員 前川 美之（独立行政法人製品評価技術基盤機構 監事）

4. 議題

- (1) 随意契約に関する追加説明について
- (2) 委員からの意見について
- (3) 新規契約案件について
- (4) 点検の追加項目について（複数応札、落札率90%以上）
- (5) その他

5. 議事概要

議題（1）随意契約に関する追加説明について

競争性のない随意契約のうち長期継続契約案件以外の14件について。

事務局が随意契約理由等の説明を行い、委員からは機構の自己点検内容に沿った対応について特段の指摘はないことが確認された。

競争性のない随意契約のうち長期継続契約案件15件について

事務局が光熱水料、土地・建物借料の説明を行った。

委員から随意契約の合理性があることが確認されるとともに、次の意見があった。

- 競争に付することができない土地・建物借料などにおいても、契約更新時には近隣の価格動向確認など行うこと。

複数年契約（随意契約、1者応札・応募）案件9件について。

事務局が入札参加資格、参加要件、公告期間、証明書の提出等の説明を行い、委員からは機構の自己点検内容に沿った対応について特段の指摘はないことが確認された。

議題（2）委員からの意見について

事務局から前回の委員会からの提案を受けた機構の取り組みについて説明した。

これに対して委員から次の意見があった。

- 参加要件を外して応札業者を増やす工夫の検討。
- 納期の制約の解消の検討。
- 再入札の場合も納品までの期間を確保するため入札の早期実施の検討。

議題（3）新規契約案件について

事務局から平成21年度の競争性のない新規随契案件6件について説明を行い、委員から了承された。

議題（４）点検の追加項目について（複数応札、落札率９０％以上）

事務局から総務省からの追加依頼について説明を行いスケジュールについて説明した。

議題（５）その他

- 委員会からの改善提案は報告書の形でまとめる事とした。
- 次回の開催は２月１６日（火）とした。

以上